

## 授業概要

本授業では、「学ぶ楽しさ、知るよろこび」をテーマに、初等教科教育法（算数）に焦点を当てる。子どもが算数を学ぶ際に、興味を持ち、楽しみながら学ぶことの重要性を探求する。具体的には、授業計画や教材の選定、授業の工夫、児童の学びを促進する方法を探求する。また模擬授業は、グループ毎に決められた単元の授業について一連の流れで準備と練習を行い発表する。授業者以外全員が児童役を演じ、直後に意見を交わす授業検討会で、授業を観る力を養うとともに、よりよい授業をするための指導を行う。

## 授業計画

第1回	オリエンテーション、よい授業とは
第2回	授業での情報の流れ、教材研究と学習指導案作成と模擬授業の位置づけ
第3回	教科書分析の仕方、「わり算」単元の内容、単元導入部分の分析
第4回	教科書分析演習
第5回	学習指導案の形式の理解と具体的な事項の書き方
第6回	第3学年「わり算」学習指導案の作成演習
第7回	実際の模擬授業とその進め方
第8回	第1学年「たし算」・第1学年「ひき算」の模擬授業とその検討会
第9回	第2学年「長さ」・第2学年「かけ算」の模擬授業とその検討会
第10回	第3学年「三角形」・第3学年「かけ算の筆算」の模擬授業とその検討会
第11回	第4学年「わり算の筆算」・第4学年「面積」の模擬授業とその検討会
第12回	第5学年「小数のかけ算」・第5学年「平行四辺形面積」の模擬授業とその検討会
第13回	第6学年「分数÷分数」・第6学年「比例」の模擬授業とその検討会
第14回	現職教員による指導技術について
第15回	担当教員によるICTを活用した授業から学ぶ
第16回	筆記試験実施

## 到達目標

この授業を修了した学生は、数学に対する興味と好奇心を高め、算数を学ぶ楽しさと知識の喜びを体験することができる。また、教育実習生および新任教員として、算数科の授業を構成し、実践できることを目標とする。

- ・算数の教科書について教材分析ができる。
- ・授業を構成して、学習指導案として書き上げることができる。
- ・グループ模擬授業を通して、基礎的な指導技術を身に付ける。

## 履修上の注意

授業を受ける際には、以下の点に留意することが重要である。まず、積極的な参加を意識すること。授業では質問や意見を出すことで、より深い理解が得られる。また、授業前には予習を行い、授業後には復習を行うことで、授業内容の理解を深めることができる。さらに、グループワークやディスカッションに積極的に参加し、他の生徒との協力とコミュニケーションを大切にすることが重要である。本授業を履修する場合には、「算数」を履修していることが望ましい（特に、小学校教員を第1志望としている場合）。

学生の実態に応じて変更の可能性もあり

## 予習復習

教科書分析および学習指導案作成演習で、授業内で出来なかった部分については宿題とする。グループで、指定された単元について、教科書分析と学習指導案作成および準備物作成・模擬授業練習を、授業外で集まって準備すること。

授業を終えた後には、授業で学んだ内容を振り返る。授業で取り扱った内容や議論を復習し、ノートを見直して理解が不十分だった部分や疑問点を洗い出し、授業で与えられた演習問題や課題を解答し、自身の理解度を確認する。解答方法や考え方を再確認し、修正することで、授業内容の理解を深めることができる。

## 評価方法

個人演習（学習指導案作成）20%、グループ模擬授業30%、論述筆記試験30%、授業への意欲20%

## テキスト

- ・教科書名：学習指導要領解説 算数編
  - ・出版社名：日本文教出版
- 『算数の教科書』各学年（こちらで資料として配布）